

January 5, 2021

【前日の為替概況】ユーロドル 1.2309 ドル、ポンドドル 1.3704 ドル、ドル円 102.71 円からドル反発

4日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反発。終値は1.2248ドルと前営業日NY終値(1.2216ドル)と比べて0.0032ドル程度のユーロ高水準だった。欧州株相場や時間外のダウ先物の上昇を背景に、リスク・オンのドル売りが先行。23時30分前に一時1.2309ドルと日通し高値を更新した。ただ、昨年12月30日に付けた2018年4月以来の高値1.2310ドルが目先レジスタンスとして意識されると上値が重くなった。高く始まった米国株相場が下げに転じると、これまでのドル売りが巻き戻されて一時1.2242ドル付近まで下押しした。

ダウ平均は買いが先行し、一時史上最高値を更新したものの、すぐに失速。下げ幅は一時720ドルを超え、節目の3万ドルを割り込む場面があった。

ドル円は小反落。終値は103.13円と前営業日NY終値(103.25円)と比べて12銭程度のドル安水準だった。日本時間夕刻に一時102.71円と昨年3月10日以来の安値を付けたものの、そのあとはじり高の展開に。米国株の失速でリスク・オンのドル売りが巻き戻されてドル円にも買い戻しが入った。1時前には103.25円付近まで強含む場面があった。なお、市場では米国株の下落について「5日にジョージア州の米上院の決選投票を控えて、リスク回避の動きが広がっている」との指摘があった。

ユーロドルは反発。終値は126.32円と前営業日NY終値(126.18円)と比べて14銭程度のユーロ高水準。23時30分前に一時126.79円と日通し高値を付けたものの、5時過ぎには126.28円付近まで押し戻された。ユーロドルにつれた動きとなった。

ポンドドルは軟調だった。欧州市場では一時1.3704ドルと18年5月1日以来約2年8カ月ぶりの高値を付けたものの、その後は新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるためロックダウン(都市封鎖)の規制が強化されるとの報道が伝わり、徐々に弱含んだ。現物の米国株相場が下落すると、ドル買い戻しも優勢となり一時1.3542ドルと日通し安値を更新した。

なお、ジョンソン英首相はこの日、新型コロナ感染の急激な拡大に対処するため、イングランドで新たに全面的なロックダウン(都市封鎖)措置を導入すると発表した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米上院決選投票や緊急事態宣言への警戒感から伸び悩みか

本日の東京外国為替市場のドル円は、本日のジョージア州での米上院の決選投票や日本での緊急事態宣言の発令への警戒感から伸び悩む展開が予想される。

菅首相が緊急事態宣言発令の検討に入るとし、2021年1-3月期実質国内総生産(GDP)がマイナス圏に落ち込むのではないかと、景気減速懸念を受けて、リスク回避の日経平均株価下落、円高懸念が高まりつつある。

また、本日実施される米ジョージア州での上院議員選(2議席)の決選投票では、昨年の大統領選のように結果判明まで数日あるいは数週間かかる可能性があるとして報じられており、結果判明まではリスク回避の地合いが続く可能性に要警戒となる。現在共和党が50議席、民主党が48議席となっており、共和党が1議席以上確保した場合、ホワイトハウスはバイデン民主党大統領、上院は共和党多数派、下院は民主党多数派となり、昨年末のように、米上院共和党が2000ドルの個人給付増額案に反対したような構図が予想される。民主党が2議席を獲得して50議席となった場合、議長のアリス米副大統領の1票で民主党が多数派となり、ブルーウェーブ(ホワイトハウス・上下院が民主党)となることで、増税によるニューヨーク株式市場の下落懸念というリスク回避要因、財政出動による米10年債利回り上昇というドル高要因などが錯綜することになる。

ドル円のオーダー状況は、上値には、103.30円に売りオーダー、103.40円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、103.50-60円には断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、102.70-80円に断続的にドル買いオーダー、102.50円にドル買いオーダーが控えている。

ユーロドルは、欧州と中国の投資協定の基本合意を受けて堅調推移が予想されるものの、新型コロナウイルス変異種感染拡大への警戒感が上値を抑える展開か。

ポンドドルは、英国と欧州連合(EU)との自由貿易協定(FTA)合意を受けて堅調推移が予想されるものの、英国での新型コロナウイルス変異種による都市封鎖(ロックダウン)が上値を抑える展開か。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 12月マネタリーベース（予想：前年比18.0%）

<海外>

○08:00 ◎ マスター米クリーブランド連銀総裁、講演

○16:00 ◎ 11月独小売売上高指数（予想：前月比▲2.0%/前年比4.0%）

○16:30 ◎ 12月スイス消費者物価指数（CPI、予想：前月比横ばい）

○16:45 ◇ 12月仏CPI速報値（予想：前月比0.4%/前年比0.2%）

○17:55 ◎ 12月独雇用統計（予想：失業率6.1%/失業者数変化1万人）

○18:00 ◇ 11月ユーロ圏マネーサプライM3（予想：前年比10.7%）

○22:30 ◇ 11月カナダ鉱工業製品価格

○22:30 ◇ 11月カナダ原料価格指数

○24:00 ☆ 12月米サプライマネジメント協会（ISM）製造業景気指数（予想：56.5）

○6日 05:45 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演

○米ジョージア州で連邦議会上院の2議席を巡る決選投票

○ロシア（新年休暇）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

4 日 11:09 菅首相

「緊急事態宣言の検討に入る」

「コロナ特措法改正、通常国会に提出する」

4 日 16:40 西村経済再生相

「緊急事態宣言の期間、諮問委員会で検討」

「これまでの知見踏まえ、経済的な負荷を抑え効果的な対策を検討」

4 日 16:49 中国外務省

「ニューヨーク証券取引所による中国通信 3 社の上場廃止、米政府が貿易問題を政治化する姿勢に強く反対」
「中国企業の法的権利を守るために必要な措置を講じる」

4 日 17:28 ハンコック英保険相

「南アフリカの新しい新型コロナウイルス変異種は英国の変異種よりも問題であり、非常に懸念している」

「南アとの移動制限を迅速に講じた」

4 日 19:53 デコス・スペイン中銀総裁

「イーールドカーブ・コントロールは検討する価値がある選択肢」

「パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)は全額使用することもできるし、必要であれば増額も可能」

4 日 19:59 エルバン・トルコ財務相

「インフレとの戦いで断固たる姿勢を示す」

「トルコ中銀の金融政策を支持する」

4 日 20:45 ネタニヤフ・イスラエル首相

「イランのウラン濃縮の拡大作業は合意違反であり、核兵器開発の意図を示している」

4 日 23:59 英首相報道官

「英国時間 20 時(日本時間 5 時)よりジョンソン英首相が新型コロナウイルスについて会見を行う」

「水曜日に議会を再開する」

5 日 00:40 エバンス米シカゴ連銀総裁

「経済は非常に低い金利の期間に備える必要がある」

「年が進むにつれてウイルスが制御下に置かれることを期待している」

「米国のインフレ率が平均で最大 2%になるまでには数

年かかる可能性がある」

「金利は長期間低水準にとどまり、FRB もしばらくの間資産購入を継続する可能性があるだろう」

「もしインフレ率が 3%に向かえば、スタンスの調整について話し合うだろう」

「春になれば何がもっと必要になるか判明するだろう」

「これからの 6 カ月の指標で低金利を変えるのに必要となるものは予測していない」

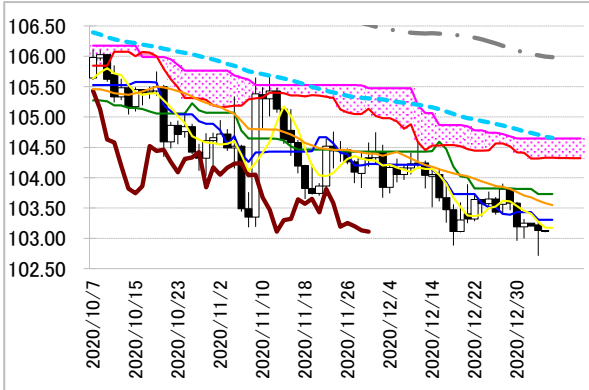
「今年の失業率は 5%に低下し、おそらくそれよりも低くなると見ている」

5 日 05:05 ジョンソン英首相

「5 日からイングランド全体のロックダウン(都市封鎖)を開始」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

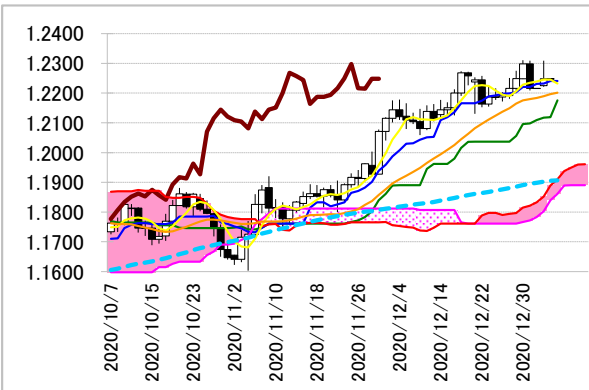


<ドル円=基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。基準線や転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|----------------------|
| レジスタンス1 | 103.73(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 103.13 |
| サポート1 | 102.71(1/4 安値) |
| サポート2 | 102.02(2020/3/10 安値) |

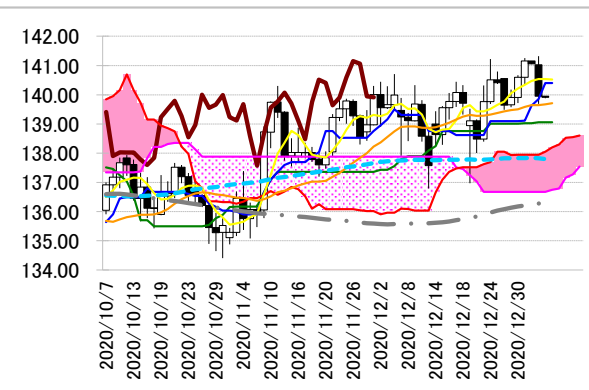


<ユーロドル=基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。転換線を上回って引けていることで続伸の可能性が示唆されているものの、トリプル・トップ(1.2310ドル・1.2309ドル・1.2309ドル)の可能性に要警戒か。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|-----------------------|
| レジスタンス1 | 1.2310(2020/12/30 高値) |
| 前日終値 | 1.2248 |
| サポート1 | 1.2119(日足一目均衡表・基準線) |

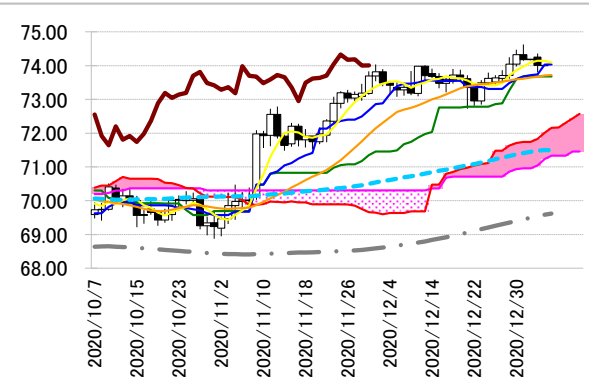


<ポンド円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での抱き線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|---------------------|
| レジスタンス1 | 140.40(日足一目均衡表・転換線) |
| 前日終値 | 139.95 |
| サポート1 | 139.06(日足一目均衡表・基準線) |



<NZドル円=20年12月13日高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、2手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、2020年12月31日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|----------------------|
| レジスタンス1 | 74.63(2020/12/31 高値) |
| 前日終値 | 74.00 |
| サポート1 | 73.68(日足一目均衡表・基準線) |

